学校番号	３０１３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表二訂版（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを，我が国の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代にいたる世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとしているか。	古代からの世界の歴史を学ぶことによって、現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。	古代からの世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしているか。	現代社会を理解するために古代からの世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し､その知識を身に付けているか。
評価方法	提出課題 定期考査 授業態度	提出課題 定期考査 授業態度	提出課題 定期考査 授業態度	提出課題 定期考査 授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	序章　先史の世界・第1章　オリエントと地中海世界	・人類が自然環境に適応しながら進化し，農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に，人類と言語の分化を理解する。 ・西アジア世界の地理的特質を把握し，オリエント文明の盛衰，イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し，エーゲ文明，ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。 ・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。	○	○	○	○	a:メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明を，関心を持って学習しようとしている。 オリエントの影響を受けたエーゲ文明とポリスを中心とするギリシア文明の意義を探究しようとしている。 ローマ世界の特色とキリスト教発展の意義を，関心を持って学習しようとしている。 b:ギリシア文明がアレクサンドロスの遠征で広く西アジア一帯に伝えられたことや，民主政治がのちの世界に与えた影響を考察し，文章にまとめる。 c: 進化図や道具図，洞穴絵画などの図版や写真，教科書に掲載されている諸言語の系統分類表を適切に活用している。 教科書に掲載されているメソポタミア・エジプト・ギリシア・ローマの各文明の資料・図版・写真などを適切に活用している。 d:人類の進化，文明の成立，人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。 西アジア世界・地中海一帯の地理的特質，オリエント世界の展開，イラン人王朝の活動とその文明、ギリシア文明の形成、ローマの帝国化の過程やキリスト教などの特徴を理解し，その基本的な知識を身につけている。	a, b, c, d: 提出課題 定期考査 授業態度

前期	第2章 アジア・アメリカの古代文明	・南アジアの地理的特質を把握し，インド文明の成立と発展，独自の宗教・社会制度など，南アジア世界の形成過程を理解する。 ・東南アジアの地理的特質を把握し，東南アジア世界における国家形成の過程を理解する。 ・東アジアの地理的特質を把握し，中国文明の起源，殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。	○	○	○	○	a:南アジア・東南アジア・東アジア南北アメリカの多様な自然条件の中で，インダス文明や中華文明形成期の社会や文化、南北アメリカ文明などの特質を，関心を持って学習しようとしている。 b: 東南アジアの諸民族が海上交易の拡大に伴って港市国家を形成・発展させていった過程を多角的に考察して把握し，文章にまとめる。 c: 教科書に掲載されている南アジア・東南アジア・東アジア・南北アメリカの地勢図や歴史地図，図版を適切に活用している。 d:インド文明の成立と発展、中国文明の起源である黄河・長江文明，殷・周時代と春秋・戦国時代の社会変動や新思想の形成、南北アメリカ文明の特色を理解し，その基本的な知識を身につけている。	a, b, c, d: 提出課題 定期考査 授業態度
前期	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・内陸アジアの地理的特質を把握し，台頭した遊牧民とその国家の動向を，オアシス民の活動とともに理解する。 ・東アジアにおける北方遊牧民族の動向と，三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化，日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。	○	○	○	○	a:隋唐帝国の成立が遊牧民と漢人の融合，内陸アジアでの突厥の成立を背景にしていることを理解し，その役割を日本など隣接諸国の動向とともに学習しようとしている。 b:内陸アジア東部に進出した匈奴を代表とする騎馬遊牧民の動向を，その文化や軍事力と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている分裂時代の諸王朝の領域図や，魏晋南北朝の系統図などの資料や図版を適切に活用している。 d:遊牧民の華北進出と定住化，均田制などの新しい制度のしくみと律令制度や文化の理解に加え，唐王朝が東アジア世界と内陸アジア世界を含む政治的秩序を形成したことを把握し，日本や新羅などの国家体制の整備に関する基本的な知識を身につけている。	a, b, c, d: 提出課題 定期考査 授業態度

前期	第4章　イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界成立の背景とその特質，アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・トルコ系民族が内陸アジアから進出し，ムスリムとの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など， イスラーム世界の拡大の過程を理解する。 ・イスラーム文明の特質とその影響，学問と文化活動の内容，イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。	○	○	○	○	a:ムハンマドの活動やイスラーム教の特質について，関心を持って学習しようとしている。 b:イスラーム世界の東方への拡大と西方における変容を，内陸アジア世界やヨーロッパ世界の動向と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:インドや東南アジアへのイスラームの伝播を示す地図，アフリカのイスラーム化に関する地図や図版などを適切に活用している。 d:イスラームの特質やその形成過程について，基本的な知識を身につけている。 イスラーム文明が古代以来の西アジア文明を基盤としてユーラシア各地の要素を加えて形成された融合文明であることを理解し，その学問と文化活動の基本的な知識を身につけている。	a, b, c, d: 提出課題 定期考査 授業態度
後期	第5章　ヨーロッパ世界の形成と発展	・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 ・教会と修道院，大学やスコラ学などから，ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。	○	○	○	○	a : 西ヨーロッパの中世都市の発展や封建社会の変容過程を，関心を持って学習しようとしているか。 中世西ヨーロッパ諸国の政治・社会の動向について，関心を持って学習しようとしているか。 B : 封建社会の変容やヨーロッパの拡大を，国王による中央集権化と関連付けて考察し，文章にまとめているか。 商業の発展や自治都市の 形成を封建社会の衰退と関連付けて考察し，文章にまとめているか。 c: 教科書に掲載されているか十字軍と西ヨーロッパ勢力の拡大，中世都市と交通路といった地図や，マグナ=カルタ，フスら人物コラムなどの資料，図版を適切に活用しているか。 d: 西ヨーロッパ封建社会の変容，中世都市と商業の発展，諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識を身につけているか。	a, b, c, d: 提出課題 定期考査 授業態度

後期	第6章　内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替，宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界にあたえた影響の大きさを理解する。	○	○	○	○	a：中国周辺諸国の変化，契丹や女真と宋の政治的・軍事的対立と交流，宋代の産業や文化の発展について関心を持って学習しようとしているか。 b：中国周辺諸国の独自の文化形成，遊牧諸国家の支配体制の特徴，宋の統治体制とその社会や文化の特色を，東アジア文化圏の統合力の変化という視点から考察し，文章にまとめているか。 c：教科書に掲載されているか通行証に記された諸民族の文字や，清明上河図など宋代の社会・文化の特色を示す写真・図版などを適切に活用しているか。 d：日本や高麗といった東アジア周辺諸国の政治権力の交替や，文化の確立に関する基本的な知識を身につけているか。	a, b, c, d： 提出課題 定期考査 授業態度
後期	第7章　東アジア世界の動向	・中華帝国を再現した明朝の動向とともに，朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 ・清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに，東アジア世界の動向を理解する。 ・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。 ・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化，東南アジア交易の発展を理解する。	○	○	○	○	a：諸王朝と隣接諸地域の動向に関して，関心を持って学習しようとしているか b：諸王朝と周辺諸地域との関係の変化を，東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連付けて考察し，文章にまとめているか。 c：教科書に掲載されているか諸王朝の領域図や周辺諸地域図，チベットや琉球の図版などを適切に活用しているか。 d：諸王朝の文化の特色，その隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけているか。	a, b, c, d 提出課題 定期考査 授業態度

後期	第13章　帝国主義とアジアの民族運動・第14章　二つの世界大戦・第15章　冷戦と第三世界の独立・第16章　現在の世界	・２年次に学習した近現代史の知識が理解できているか、問題演習を通じて整理し、確認する。 ・帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解しているか。 ・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解しているか。 ・第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解しているか。 ・中国や東南アジア諸国，インド，トルコや西アジア諸国，アフリカの民族運動の展開を理解しているか。 ・第二次世界大戦後，米ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解しているか。 ・戦後の 20 年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し，発言力を強めたことを理解しているか。 ・東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体，1990 年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。 ・世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争，紛争解決や軍縮の試みを理解する。	○	○		○	a：第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る過程を関心を持って学習しようとしている。 　米ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 　新たな地域紛争の頻発，経済格差や深刻化する貧困問題など，現代の諸地域世界の情勢について関心を持って学習しようとしている。 b：経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，論述する。 　冷戦の終結をゴルバチョフによるソ連の改革と関連付けて考察し，論述する。 d：第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格，経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。 　国際連合を柱とした戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立に関する基本的な知識を身につけている。 　東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦の解体過程，ＥＵやＮＡＦＴＡなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	a,b,d： 問題演習 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けているか。